

平成24年行政事業レビューシート

(文部科学省)

事業名	OECDが実施する地球規模課題の解決に向けた取組への拠出		担当部局庁	科学技術・学術政策局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成23年度		担当課室	国際交流官付		国際交流官	石田 徹	
会計区分	一般会計		施策名	VII-4. 科学技術の国際活動の戦略的推進				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	第4期科学技術基本計画				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	国際的な知的公共財の創出や地球規模課題の解決に資する科学技術協力を国際機関への拠出を通じて行い、我が国の科学技術の戦略的推進を図る「国際機関への拠出等」のうち、「OECDが実施する地球規模課題の解決に向けた取組への拠出」は、人口、食料、資源・エネルギー、環境に代表される地球規模課題の解決に向けた科学技術面の取組を実施することを目的とする。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	国際的な協議・協力によって解決を図ることが求められる地球規模課題に対し、科学技術面から対応するために、OECDが実施する事業の推進に必要な経費を拠出。OECDでは、我が国からの拠出金等により、地球温暖化やエネルギー問題など地球規模課題の科学技術面からの解決に向けて、先進国と途上国の科学技術協力のあり方について調査分析を実施しており、本事業ではOECDと協力しながら各国が実施する地球規模課題の解決に向けた施策を比較し、我が国が実施する国際共同研究を戦略的に行うための調査、情報交換、情報分析を実施。							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求		
		当初予算		24	22	22		
		補正予算		-	-	-		
		繰越し等		-	-	-		
	計		24	22	22			
	執行額		24					
執行率(%)			100.0%					
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		成果実績	単位	21年度	22年度	23年度	目標値(年度)
	本事業はOECD内部における調査、情報交換、情報分析の実施を行うものであり、定量的な指標による評価になじまない。			-	-	-	-	
	達成度		%	-	-	-		
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		活動実績(当初見込み)	単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	OECD内部での調査、情報交換、情報分析については、定量的な指標による評価になじまない。			-	-	-	-	
			(-)	(-)				
単位当たりコスト	-		算出根拠	アウトカム/アウトプットとも定量的な指標がないため算出不可				
平成24・25年度予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由				
	経済協力開発機構拠出金	22百万円	22百万円					
	計	22百万円	22百万円					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	本事業は、OECDにおける人口、食料、資源・エネルギー、環境に代表される地球規模課題の解決に向けた科学技術面の取組の実施を目的とする、有用かつニーズの高い事業であり、国が実施すべきである。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
	-	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・使途	-	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	当初の目的どおり、OECDへ拠出された。本事業により拠出された経費に運営経費以外の用途はない。本事業による拠出金により地球温暖化やエネルギー問題など地球規模課題の科学技術面からの解決に向けて、先進国と途上国の科学技術協力のあり方について調査、情報交換、情報分析を実施した。
	-	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	-	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	我が国から提案した「地球規模課題に関する先進国と途上国との科学技術協力に関する調査活動」についてレポートを取りまとめ、政策立案に活用した。
	-	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	-	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	-	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	-	※類似事業名とその所管部局・府省名	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果		<p>【目的・予算の状況】 当事業は、人口、食料、資源・エネルギー、環境に代表される地球規模課題の解決に向けた科学技術面の取組を実施することを目的とする有用な事業である。</p> <p>【資金の流れ、費目・使途】 当初の目的どおり、OECDへ拠出された。</p> <p>【活動実績、成果実績】 我が国から提案した「地球規模課題に関する先進国と途上国との科学技術協力に関する調査活動」についてレポートがとりまとめられた。</p>	
予算監視・効率化チームの所見			
現状通り		<p>1. 事業評価の観点：当該事業は、国際的な協議・協力によって解決を図ることが求められる地球規模課題に対し、科学技術面から対応するために、OECDが実施する事業の推進に必要な経費を拠出する事業である。</p> <p>2. 所見：当該事業は、平成25年度についても、引き続き活動実績と費用対効果を検証し、適正な規模で事業を実施すべきである。</p>	
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
現状通り		<p>OECDでは、現在、公的投資による基礎研究の経済的・社会的影響分析を実施している。我が国においても、投資効果の可視化など客観的根拠に基づき政策の企画・立案を行うことを目的に、科学イノベーション政策のための科学(SciSIP)を推進している中で、OECDに積極的に関与して他国の動向に関するきめ細かな情報を獲得することは有益である。引き続き活動実績と費用対効果等を検証しつつ事業を推進する。</p>	
補記（過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載）			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	0195	平成23年行政事業レビュー	0034

文部科学省
(24百万円)

国際的な協議・協力によって解決を図ることが求められる地球規模課題に対し、科学技術面から対応するために、OECDが実施する事業の推進に必要な経費を拠出。



〔拠出〕

【A】
経済協力開発機構(OECD)
(24百万円)

地球温暖化やエネルギー問題など地球規模課題の科学技術面からの解決に向けて、先進国と途上国の科学技術協力のあり方について調査、情報交換、情報分析を実施。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単
位: 百万円)

A.経済協力開発機構(OECD)			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
拠出金	人口、食料、資源・エネルギー、環境に代表される地球規模課題の解決に向けた科学技術面の取組にかかる経費	24			
計		24	計		0
B.			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の
 金額が支出されている者につい
 て記載する。費
 目と使途の双方
 で実情が分かる
 ように記載)

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	経済協力開発機構 (OECD)	国際的な協議・協力によって解決を図ることが求められる地球規模課題に対し、科学技術面から対応するためにOECDが実施する事業の推進に必要な経費	24	-	-

※拠出金のため、入札者数および落札率は「-」としている。